

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳  
 新潟県山岳協会  
 上越市南城町2-3-37  
 TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一  
 長岡市高畑町610-10  
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 浅野亘寬  
 TEL 0258-52-3998

## 平成17年度安全登山講習会に参加して

長岡ハイキングクラブ 木野本 宏 志

### ☆クサリ場下降は 片手・両手?

いきなり初歩的な題をつけたのは、この講習会の二週間後に、ある件で議論になったからである。

講習で受けた内容と実際の現場で異なる方法を指示されれば、経験の浅い者は、とまどうだけである。逆に基本は基本として、各現場に即応した方法も大事であると思います。

講習会は8月7日巻町角田浜、駐車場の観光案内所及び灯台付近で行われた。

午前中は理事長の挨拶の後、座学は山岳遭難の実態について説明があった。座学から実技にかけての講習は、各班に分かれ、楡井遭難対策委員長と遭難対策委員が行った。遭難実態の話の中で転倒・滑落・道迷いの、三重大事故に焦点を絞って、対策に取り組むことが必要である。

道迷いについては、加齢に伴う高齢層に多発させる可能性がある。本安全講習会は転



簡易チェストハーネスの講習

倒・滑落防止の為である。その要点として、(イ)51才〜66才にかけて女性の事故者が集中する。またすべて転落がトッブである事が多い。(ロ)50才過ぎから始めた人が多く、経験年数は10年前後に多い。

次に事故発生時刻を見ると、日帰りでは、十四時前後、宿泊では朝の九時頃になり、全体行程の四分の三近くで多発している。これはヒューマンエラーが疲労に加わる為と考えられている。また事故後の処置が大事で、セルフレスキューに代表されるように、

自らも日頃、事故時の対応を熟知しておく必要があると思ふ。

### 実技は

◎スリングと補助ロープの活用。スリングをつくる。ロープスリング・テープスリング。

### ◎ロープを結ぶ

●簡易チェストハーネスをつくる。テープスリングでつくる。補助ロープでつくる。◎危険箇所の通過。立木やクサリの場合・ブッシュの場合(すっぽ抜きの危険のある場合)・支点にロープを接続する。

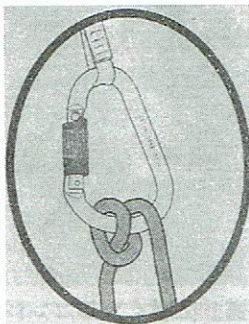
### ◎上下方向のトラバース

◎山中現場での支点選びとロープの扱い

●半マストでの確保 登り・降り

◎ロープを固定する 懸垂

以上の内容で行われた。



▶半マスト結び(ムンター・ヒッチ)

私が実際の山行で、非常時の場合必要になると思われるのは「簡易チェストハーネス」。「ムンターヒッチ(半マスト)」による、確保・登下降です。私も当日、話のあった弱者であり、経験の浅い者であるので、今回の講習会は大いに参考になった。

特に30mm巾テープや、7mm×10mm、補助ロープを使用している簡易チェストハーネス方式は、リーダーだけでなく、一般のメンバーも、テープスリングとカラビナ2〜3枚で自己の難所通過に役立つ時があると思う。

リーダーは事前にそのルートによりザイル等を持参していると思われるから、危険箇所やクサリ場があっても、支点をクサリの支持点にとれば、半マストによる登りと下降が出来る訳である。

少なくとも、ある程度の山行を希望する者は、今回の安全登山講習会及び、昨年、吉田町で行ったレスキューの講習会、内ノ倉で行う、クライミング講習を一通り受けて、繰り返し反復練習をしておかないと、イザという時ロープの結び方を忘れてしまう。詳細は各会のリーダー、又は参加者に聞いて下さい。



# 「銀の道」を歩いて

見附山岳会 井口 礼子



小雨の中で記念写真

この一年、再度訪れる事に。銀山平石抱から登り、駒

の湯近くの坂本へ下る。今年

は災害等無いようにと祈りながら、伝之助小屋に十四人が前泊した。夜になり、雨足が強い地域があるのか参加見合わせの連絡が入った。銀山平ではまだ大丈夫だったのだが。

二日の集合時は心配した雨も空からはまだ落ちてこず、開高健の記念碑前で銀の道のガイドをして下さる桜井昭吉さんのご挨拶と委員長山田さんの挨拶後、一合目「石抱」を総勢四十三名で出発。二合目「榛の木」辺りから少し雨が降り始め雨具を着たが強い雨にはならず、時々止んだりもした。三合目「オリソ」、四合目「十七曲り」、五合目「松尾根」、六合目「ブナ坂」、七合目「焼山」と続く。ガスの為、期待していた銀の道からの越後駒ヶ岳の勇姿が見えずとても残念だった。銀の道は十合目の大明神を中心にと

思っていた。勇んで参加した去年の十月二十三日、伝之助小屋に前泊し翌日は秋晴れ間違いないし、と乾杯後の宴会が盛り上がる寸前の中越地震：それから、あつという間に過ぎた

名前がついており、当時の人々が行き来した峠道への思いが伝わって来るようである。八合目「水場」には寄らずに通

せながら喉を潤してみたい気がした。特に興味があったのは九合目にある「問屋場」であった。季節遊女達がいたというその場所はブナに囲まれた平坦な地形になっていた。思っていたよりも随分せまく感じられた。このような高い山の中まで働きに来ていた彼女達はどんな思いで暮らしていたのだろう。問屋場にはオニシオガマが優しく咲いており、少しばかり感傷的になったりもした。健脚揃いだったのか一時間四十分くらいで大明神に到着。この枝折大明神は女性で、この道を行き来する男性には特に情け深かった

この銀山跡は昭和三十六年の奥只見ダムの完成で奥只見湖の湖底に静かに眠りについているそうです。花の時期、晴れた穏やかな日に静かな銀の道をもう一度訪れてみたいと思っています。今回、桜井昭吉さん、伝之助小屋のご主人、南魚山岳の会の井さんには大変お世話になりました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

追われ、尾瀬へ逃げ延びた道。その伝説から約五百年後、銀山が発見され開山から二百二十二年余り栄えた銀の道。寛

敏山町として栄え始めた。最も盛期には約千軒もの家々が立ち並び、二万五千人もの人々が働いていたそうである。少しばかり歴史好きの私にとって、いにしえのこの道は興味深い歴史の道でもあり、いつか明神峠を越えて歩き通してみたいと思っていた。勇んで参加した去年の十月二十三日、伝

二合目「目覚し」。明神峠より一時間四十五分で一合目「坂本」に到着。解散後、迎えのマイクロスパスで車のある伝之助小屋まで乗せて頂き帰路についた。

標高差九百メートル、急な斜面を馬や人が行き来する為かつづら折りの登山道になっていた。九合目「日本坂」。八合目「仏堂」、七合目「千体仏」ではすっかり土に埋まっているはずの仏像に手を合わせた。六合目「中ノ水」、五合目「半腹石」。数百年もたつたと思われる太いブナの木々に感嘆の声を上げ、すばらしいブナの林を守っていかなくては……と思った。四合目「水函」、三合目「檜の木」、



「銀の道」に咲くツルニンジン



# ボルダリング全国講習会参加報告

64 国体施設委員長 KCC 稲田 春 男



燕岳有明花崗岩の侵蝕岩頭

## 山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

### ④7 日本アルプスの形成活動

ユーラシア大陸の一部が裂開して、日本列島の形成活動が始まってから、すでに2500万年になる。現在の日本列島周辺には、太平洋・北アメリカ・ユーラシア・フィリピン海の四つのプレート（岩盤）が衝突している。これらプレート周辺では、大規模地震が繰返して発生し、人類の生活の場にも大きな被害を齎（もたら）してきたが、地球の歴史からみれば日常茶飯事の現象なのである。

日本の脊梁山脈を形成する原動力になっているのは、プレートの衝突により地殻全体が押し上げられているものと、プレートの潜り込みでマグマが地表近くまで上昇して地表が隆起する、二つの造山運動のタイプが考えられている。

花崗岩系の低密度岩盤は、その浮力で地表近くまで上昇したので、山脈の稜線に露頭が多い。火山の溶岩を推積した高山もある。

日本列島中央部には、こうした造山運動で形成された日本アルプスが聳えている。

第一回ボルダリング・ジャンパニックが、9月23、24日と神戸ポートアイランド、アシックス本社で行われた。また同じ会場で23、24、25日と講習会も開催された。

1日目は競技が終了するまで見学。国際ルールでの大会は初めてなので、競技進行、運営等、頭の中に描いていたものが、現実となり参考になった。

新潟国体におけるボルダリング競技の施設、会場については国体準備室でもいろいろと試行錯誤している状態だが、この大会がひとつの目安になるのではないかと思う。

競技終了後、21時迄ルール等についての講習。東氏が講師の予定だったが、ルートセットの為、経験豊富な北山氏に交代、ローカルな

大会から世界大会などの例を挙げ、解りやすい説明だった。ボルダー競技では、決められた競技時間で全員が流れていくのでテクニカル・インシデントはあってはならない（特にホルドの回転）とのこと。

21時も過ぎ講習も終わりかとおもいきや、東氏からウォールの前へ集合命令、イヤな予感がしたのだが案の定、彼の口からは言葉が次から次へと機関銃のように飛び出てきていつ終わるともつきない。実は車で来たので神戸に着いてから、一時間程しか睡眠をとっていないのだ（目が痛い、早く寝たい）。

2日目は決勝の審判、1課題を3人でおこなう。1人が審判、2人がホルドのクリーニング、このクリーニングが大変だ、アテンプト毎に行うが、スピードと確実さ、そしてタイミングが難しい。

3日目は会場を兵庫県山岳会館に移動して実技講習。ルートを作り、皆でトライ。それを講師の東氏が講評。スタート地点、ポナスポイントなどの作り方、また参加者の質問をおもしろ、おもしろく説明し和やかなうちに講習会を終了した。

参加者 水落 稲田。

## 海外・国内旅行、主催・手配



**ユニオン航空サービス**  
国土交通大臣登録旅行業第553号・JATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県長岡市東町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

☐長岡営業所 〒940-0064 長岡市東町1丁目3番5号 ☎(0258)33-7123  
-総務/営業/接客主任者 森 隆樹

☐新潟営業所 〒950-0916 新潟県長岡市東町1丁目3番5号 ☎(025)246-2266  
-総務/営業/接客主任者 森 隆樹

◇第1回ボルダリング・ジャンパニックが神戸市で開催され、男子65名、女子14名の参加者が、いろいろの形状から出来ている5つのウォールの5課題で競技を争った。新潟県からは国体強化選手の平嶋、片桐の2名が参加。

女子の片桐選手は3課題（トップ）を4アテンプト、3課題のポナスポイントを3アテンプトの成績だったが惜しくも6位以内に残れず決勝進出はならなかった。

男子の平嶋選手は4課題（トップ）を7アテンプト、5課題のポナスポイントを9アテンプトの見事な成績で



決勝進出。決勝では2課題を5アテンプト、3課題のボーナスポイントと健闘した。南は九州、北は北海道からまた世界でも活躍している強豪が集まったなか、初めての全国大会で平嶋、片桐選手がおおいに健闘した。これからの活躍を期待したいとおもいます。

**男子成績**

- 1位 茂垣敬太
- 2位 松島暁人
- 3位 平山ユージ
- 11位 平嶋 元

**女子成績**

- 1位 野口啓代
- 2位 田井千春
- 3位 熊谷典子
- 8位 片桐麻由子

**◇ジャパンカップに出場して**

片桐麻由子  
今までも何回かコンペに出場した事がありますが、オーブンでの参加というのは、今回が初めての事でした。

自分に何が足りないのか、どのような練習をして行けばいいのか、と云うことを考えさせられた2日間だったと思います。地方でやっている、クライマーにとっては、大きなコンペに出るとい事も重要だと思いました。

**お願い**

**◎平成17年度分担当**

**早期納入のお願い**

協会運営を円滑に行うためには加盟団体の皆様からの分担金が必要です。充実した事業運営のためにご協力をお願いいたします。

**銀行口座**

第四銀行長岡市役所前支店  
普通預金 1179492  
名 義 新潟県山岳協会  
郵便振替 新潟県山岳協会  
口座番号 006501  
812040

**◎原稿募集のお願い**

広く原稿を募集いたします。個人の記事、記念誌、会報発行。筆、詩、短歌、俳句、等の文芸作品、など。尚昨年の水害、地震等の自然災害以来の車道、登山道、等の各種情報などありましたら、会報編集委員会まで、ご連絡を下さい。

FAX、郵送、メールをお願い致します。

〒940-0221  
栃尾市金町2-2-17  
浅野巨寛方 会報編集委員会  
〒/〒 0258-52-3998  
Mail: a-unikai@ms.dion.ne.jp

**遙かなり**

**曲阿加吉瑪峰遠征2004登山報告書が完成**

遙かなり  
曲阿加吉瑪  
2004年チアジャマ1峰登山報告書  
2004年7月14日～8月11日



表紙・坂西徹朗氏  
(日本山岳会越後支部)



▲激しかった登攀を終わって  
(ABCにて)

**◎遙かなり曲阿加吉瑪  
2004年チアジャマ  
I峰登山報告書**

☆頒価  
¥1700+300(送料)  
申込問合せ先  
〒954-0005  
見附市戸代新田町194-2  
松坂良一(日本山岳会越後支部)  
☎0258-63-0733  
郵便振替口座  
00580-1182032  
(松坂良一名義)  
住所、氏名、明記お願いします。

**登山・アウトドアの専門店**



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

**登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー**



**パーマーク**  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>